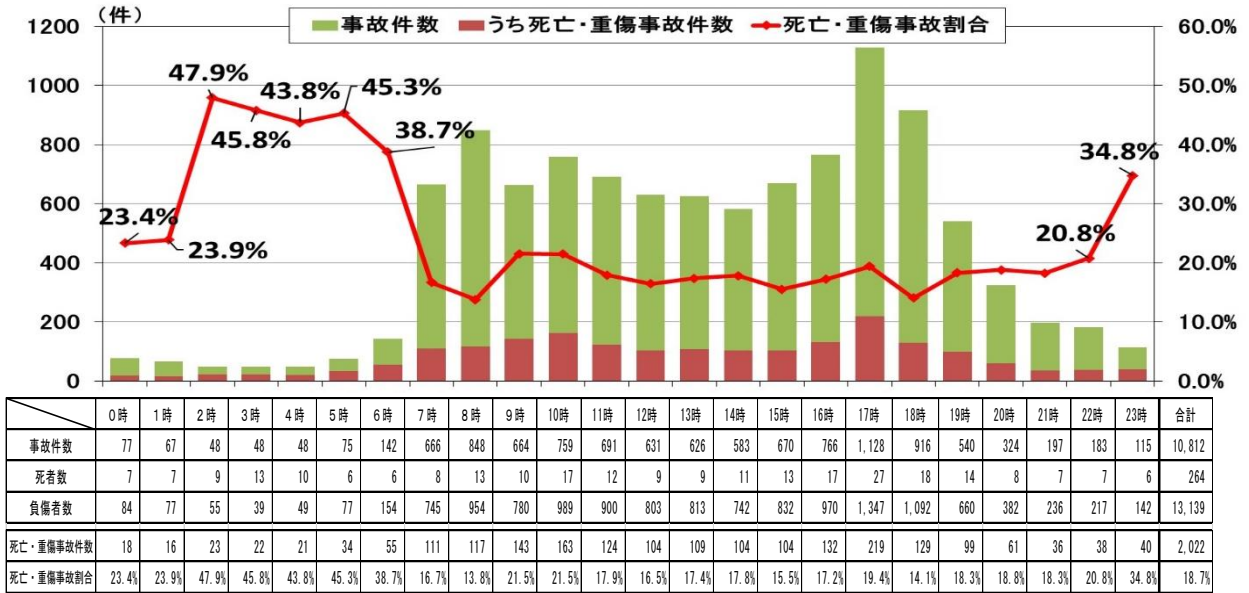


夜間発生の交通事故の分析結果 ～ 過去10年間（平成23年から令和2年）の分析 ～

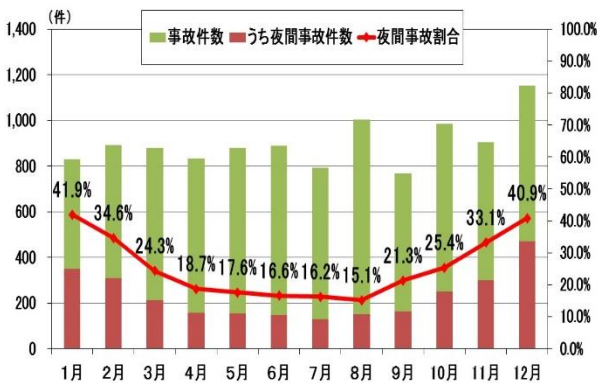
1 発生時間別交通事故発生状況



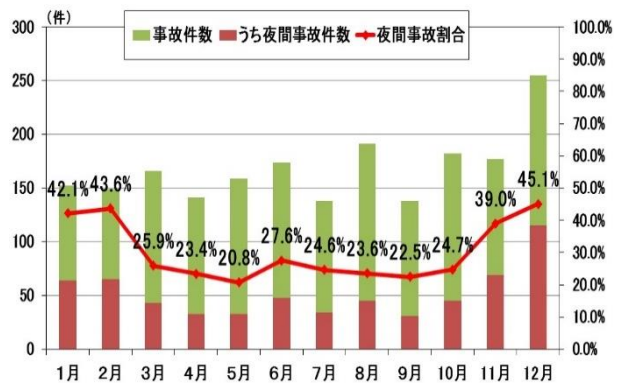
- 過去10年間の交通事故は17時台が、発生件数（1,128件）及び死者数（27人）とも最多
- 全事故に占める死亡・重傷事故の割合は22時台から6時台にかけて20%台から40%台と高率

2 月別・事故内容別交通事故発生状況

(1) 全事故



(2) 死亡・重傷事故



(3) 死亡事故

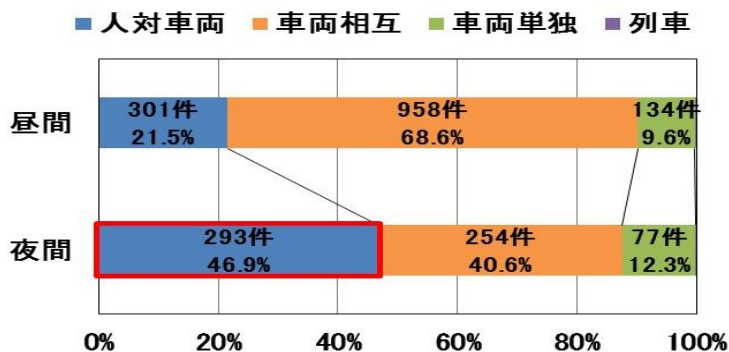


- 全事故では、9月以降、夜間事故の割合が増加し、12月は40.9%、1月は41.9%を占める。
- 全事故と比較し、死亡・重傷事故、死亡事故は、夜間事故の割合が高率で、特に、死亡事故では、11月以降の冬場の時期は、夜間の発生が6割以上を占める。

3 夜間の死亡・重傷事故の特徴等（死亡・重傷事故 昼間・1,397件 夜間・625件）

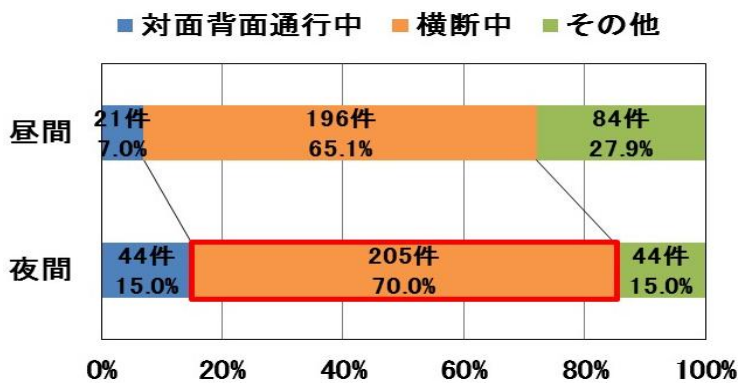
(1) 事故類型別等

ア 事故類型別発生状況（大分類）



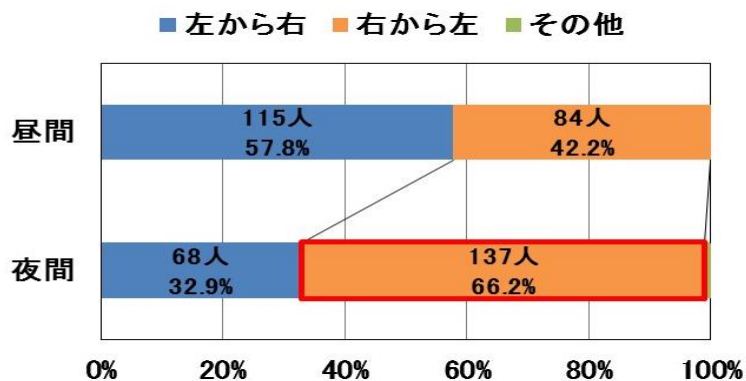
○ 昼間は人対車両事故の割合が21.5%であるのに対し、夜間は46.9%（625件中293件）と、昼間の割合と比較して約2.2倍高い

イ 人対車両事故発生状況



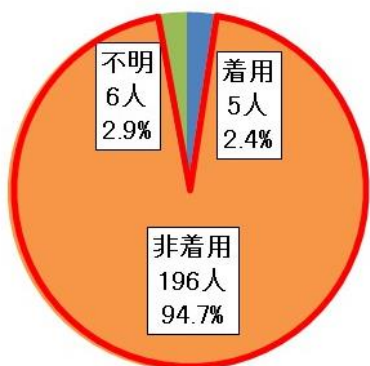
○ 人対車両事故を細分して見ると、昼間の65.1%（196件）、夜間の70.0%（205件）が横断中

ウ 横断中歩行者の進行方向別



○ 横断中に被害に遭った歩行者のうち、昼間は「右から左」に横断中の被害が42.2%であるのに対し、夜間は66.2%と、昼間の割合と比較して約1.6倍被害に遭いやすい

エ 夜間横断中歩行者の反射材用品の使用状況

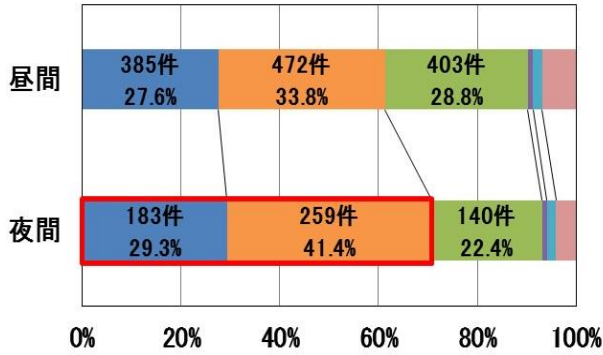


○ 夜間の横断中に被害に遭った207人中、反射材用品を着用していた方はわずか5人（2.4%）と非着用が9割以上を占める

(2) 路線別

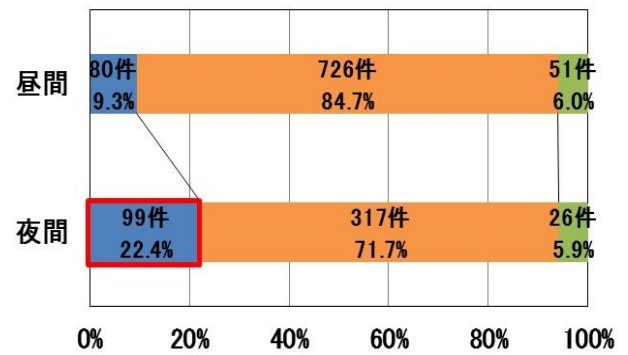
ア 路線別発生状況

■ 国道 ■ 県道 ■ 市町村道 ■ 高速道 ■ 自専道 ■ その他



イ 路線別発生状況 (国道及び県道)

■ 速度超過あり ■ 速度超過なし ■ 調査不能等

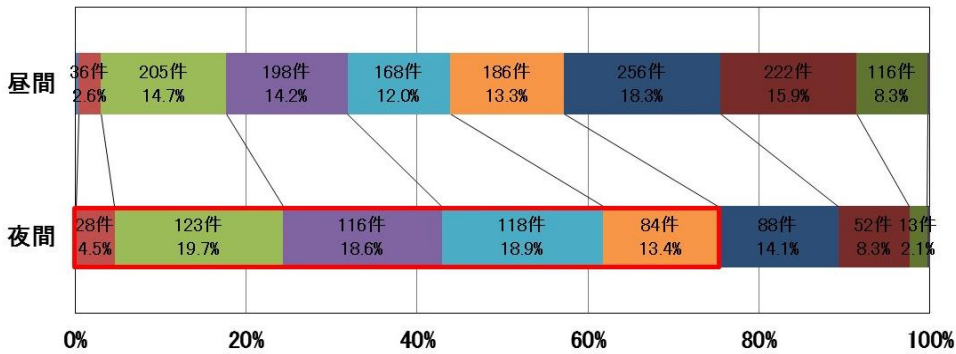


- 夜間は、国道及び県道においての事故の割合が増加し、国道が29.3%、県道が41.4%を占める
- 国道及び県道での事故において、夜間は速度超過ありの割合が22.4%（442件中99件）と、昼間の9.3%（857件中80件）と比較して2.4倍高い

(3) 年齢層別

ア 加害者側

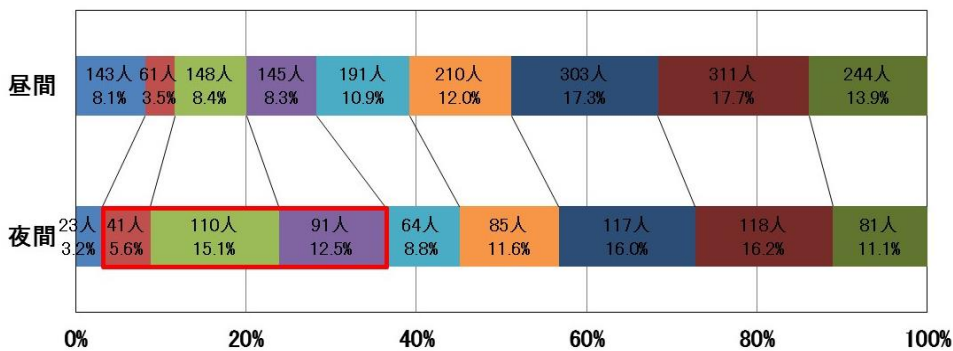
■ 15歳以下 ■ 16~19歳 ■ 20代 ■ 30代 ■ 40代 ■ 50代 ■ 60代 ■ 70代 ■ 80代~ ■ ひき逃げ等



- 16歳から50代の年齢層の方が加害者となる夜間の事故の割合は75.1%と、昼間の56.8%と比較して1.3倍高い

イ 被害者側 (死亡・重傷事故死傷者 昼間・1,756人 夜間・730人)

■ 15歳以下 ■ 16-19歳 ■ 20代 ■ 30代 ■ 40代 ■ 50代 ■ 60代 ■ 70代 ■ 80代~



- 16歳から30代の若年層の方が被害者となる夜間の事故の割合は33.2%と、昼間の20.2%と比較して1.6倍高い